

## 母校創立百二十周年記念行事 盛会裡に終わる

■母校創立百二十周年記念行事.....	1	■母校便り.....	4	■金蘭会ホールご案内.....	8	■会員からのお便り.....	16
■会長ご挨拶.....	2	■クラブ便り.....	5	■母校国際交流事業報告.....	10		
■校長ご挨拶.....	2	■会務報告書.....	6	■IT委員会、行事委員会より.....	11		
■名簿委員会、文庫委員会より.....	3	■会計・賛助金納入のお願い.....	6	■学年会だより.....	11		
■国際グリン賞.....	3	■予算・決算報告書.....	7	■支部この1年.....	14		

金蘭会ホームページ「WEB金蘭会」  
(http://kinran.jp)

### 母校創立百二十周年記念行事

# 盛会裡に終わる

昨年十一月二日に実施された母校創立百二十周年記念式典・祝賀会は、お蔭様をもちまして盛会裡に終わることが出来ました。特に金蘭会中心で行った祝賀会は、大盛況でした。

## ■ 記念式典 ■



大阪国際会議場で式典が挙行され、在校生は非常に立派な態度で臨み、さすが大手前との声があがっていました。金蘭会から升谷博会長、米田玲子副会長から記念品の空調設備目録贈呈が行われた後、記念演奏会では、オーボエ奏者古部賢(S62卒)氏の独奏がありました。

時に百周年記念式典に立ち会い、二十年後、自身が百二十周年記念式典の舞台上に立つという希有な体験をしておられ、当時将来自分も舞台上に立ちたいと思った、という話をしておられました。

(四面の母校便りに関連の記事有り)

## ■ 祝賀会 ■

その後のリーガロイヤルホテルでの祝賀会は、受付が大混雑するほどの賑わいで、お茶席も花を添え、第十三代校長坪井明先生も、車椅子ながらお元気で出席され、特別に思い出話をなさる場面もあり、終始和やかな雰囲気で行われました。

留井恵子祝賀委員長の閉会の挨拶、校歌斉唱の頃には、皆さん本当に良い笑顔で、母校の発展を心から祈りました。今回の記念品の校舎をかたどった文鎮は好評を頂き、様々な工夫を盛り込んだ記念名簿の売れ行きも好調で、担当者一同喜んでおります。名簿はまだ在庫がありますので、購入ご希望の方は、名簿委員会からの案内をご覧の上、お申し込みください。

最後になりましたが、会の準備・当日の運営に御協力いただいた方々に厚く御礼申し上げます。





## ご挨拶



会長 谷 博 (S27卒)

金蘭会会員の皆様、その後益々お元気にて全国各地で、色々な分野に於て活躍されておられる様子を承り、何よりの事とお喜び申し上げます。

昨年は、母校創立百二十周年に当たる年で、数多くの記念事業を挙行しました。

## ご挨拶



会長 藤 良 昭

金蘭会会員の皆様にはご健勝にて活躍のことお慶び申し上げます。

昨年四月の着任から一年がたちました。同窓会のご支援をうけ、生徒諸君が高い理想を求めて勉学に励んでいる姿に、大手前の教育の厚みを実感した年間でした。特に、昨年の創立百二十周年記念事業で

十一月二日、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテルでの記念式典・演奏会・祝賀会を会員の皆様方共々、盛大にお祝い出来ました事を、先ず皆様方に厚く御礼申し上げます。学校・PTA・同窓会の三者が一体となって二年以上前から準備したもので、この成功は、従来にも増してお互いの絆が強まったものと思っております。又記念名簿の刊行に当りましては、多数の方々からの広告掲載ご協力のお申し出を頂き、刊行事務をスムーズに取り進めることが出来ました。加えて名簿委員会の方々のご努力により、個人情報保護法への対応も充分に行うことが出来ました。百二十周年を記念して、母校へ視聴覚教室等の空調設備を寄贈いたしました。会員の方々の

従前よりのご厚志に、今回の各事業でのご支援ご協力による剰余金を加えて充当出来ました事、重ねて御礼申し上げます。

平成八年より始めた金蘭会セミナーは、昨年七月二十一日記念すべき第百回を迎え、渡邊興重氏の記念講演会を持ち、歴代講師をお招きし、メンバー共々お祝い出来ました事も大変意義深い事で、皆様のご協力によるものであり深く感謝いたしております。

本年度より、大阪府下の学区改編により、母校の通学区域が拡がり、従来にも増して意欲ある中学生が志望してまいります。これに対応できるよう、斎藤校長以下教職員の方々の、更なる教育活動の充実への取組に同窓会も応えていきたいと

考えております。特に将来国際社会で活躍しうる人材の育成に貢献しております。英国ベンクライズ校との相互交流事業は、本年度より支援の充実を評議員会で承認いただきましたので、母校の発展に少しでも貢献できるものと考えております。

本年度は昨年度に比べて大きな行事はございませんが、年代を越えた会員相互の交流の場を充実させていく所存です。

何はともあれ当会の発展は、会員の皆様方のご理解ご協力なくしてはあり得ない訳です。役員一同力を合わせてその任に当りますので、皆様のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

は、皆様の絶大なご支援ご協力をいただくことができ、多くの方から良い式典、祝宴だんたとお褒めの言葉をいただきました。ご寄贈いただいた視聴覚教室や自習室の空調設備は、生徒の学習に大変役立つしております。また、金蘭会からの援助で実施しているウエールズとの国際交流や集中セミナーなどは、年を経るにつれて充実し、教育効果が上がってきております。皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

さて、本校の近況ですが、府から「次代をリードする人材育成研究開発重点校(エール・ハイスクール)」の指定を受けて四年が経ち、成果が上がっております。今年の進路状況で申し上げますと、東大二名、京大二八名と日本を代表する難関大学に合計

三十名が合格、国公立大学には二百名が合格するなどの結果は、高い学力を育てる取り組みによるものであると思っております。

また、今春、大阪府では普通科の通学区が四つに改編され、大手前高校は第二学区となりました。これまでは大阪市内の生徒が中心でしたが、今年の普通科の新入生は枚方・寝屋川などの旧四学区から約百名が入学し、新しい雰囲気が出てきています。旧四学区から多くの意欲溢れる生徒諸君が志望してくれたのは、本校の伝統の厚みと、時代の課題をしっかりと受けとめる教育が評価された結果であると考えております。

昨年の百二十周年の行事は生徒にとって伝統を身近に感じ、意欲を高める良い機

会となりましたが、今年も、旧制高等女学校の昭和二十年卒業の方々の卒業式を実施する準備が進行中です。これが実現すれば、昨年の周年行事同様、生徒にとってもたいへん意義深いものとなると考えております。

今年、大阪府は府立高校の定時制課程に新たに校長を任命しました。その結果、昨年以上に全日制の教育活動に力を注ぐことができるようになりました。意欲ある中学生から積極的に志願される学校となるよう、教職員一同、これまで取り組んできた教育活動を二層充実させてまいりますので、金蘭会の皆様の母校に対するご支援ご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



# 名簿委員会

平素は会員の皆様方には、色々ご協力いただき有難う御座います。ご存知の通り昨年11月に、母校創立120周年記念事業の一環として会員名簿を刊行いたしました。発刊に際し、会員の皆様・関係各社に多大のご協力を頂きましたことに紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。お蔭様で多くの方々にご購入いただき、ご好評を頂いております。今回は、僅かですが新しい内容を盛り込みました。東京支部をはじめ各支部の現況紹介、クラブOB会の紹介、それに各クラスの卒業時の先生のお名前を掲載させて頂きました。また、巻末の索引は旧姓・新姓の両方から捜せる方式を取り入れ、これも使い易くなったとのことのお声が大多数です。

今後とも委員会の活動として最新のデータの収集と管理を引続き行っていく必要がありますので、クラス会・学年会・支部会・OB会等を開催されました折には、住所やその他の変更・判明のお知らせを金蘭会まで頂きますようよろしくお願い致します。

なお、新名簿は多数残部がありますので、この機会に是非ご購入くださいますよう併せてお願い致します。同封の振込用紙でお申し込みください。(送料共5500円)

(名簿委員会委員長 S33卒 石川 温子)

## 第11回 国際グリム賞



第十一回国際グリム賞の受賞者は、オーストラリアのジョン・スティーヴンス博士に決まりました。

平成十九年三月二十一日、大阪府立国際児童文学館にて国内外の選考委員十名による最終選考委員会が開催され、受賞者が選出されました。今回受賞されるジョン・スティーヴンス博士は、児童文学研究において理論派として活躍され、現在、オーストラリア マコーリー大学教授、北京師範大学名誉教授を務められながら、児童文学の研究指導などで学会のリーダーとしても著名です。一方、世界各国の児童文学研究者とも共同研究を行い、自国のみならずアジア、ヨ

## ジョン・スティーヴンス博士(オーストラリア)に決定!

ヨーロッパの研究者の育成にも尽力し、国際児童文学学会の会長を三年間(一九九七～一九九九)務められました。現在もオーストラリア児童文学学会会長などさまざまな要職に就かれ、児童文学の発展に多大なる貢献をされるなど、国内外においても幅広い活動を行っておられます。

主な著書に「絵本から文学理論まで」、「児童文学における言動とイデオロギー」など、著書・論文は多数あります。また、「オックスフォード児童文学事典」の刊行には、副編集長として執筆・編集に尽力されてこられました。

本年十一月(予定)の授賞式当日、同博士による記念講演会が行われます。金蘭会会員は参加が可能ですので、興味がおありになる方はぜひご参加下さい。

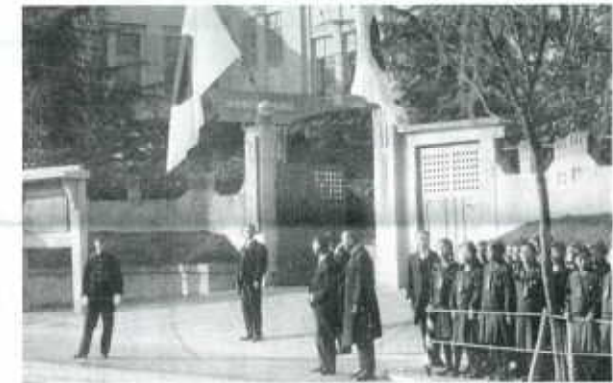
(国際グリム賞 担当理事 S30卒 多田 嘉孝)

# 文庫 委員会

## 「資料・写真をお貸しください。」

四年後(平成二十三年)に金蘭会は設立百二十周年を迎えます。文庫委員会では、事業の一つである記念誌の編纂に向けて、資料や写真の収集と整理を行います。さまざまな時代の中で、大手前高校と金蘭会がどのような様子であったのか、またその変遷を綴ろうと計画しております。平成十九年二月と四月に開かれた金蘭会セミナーでは、江田龍咲氏による「大手前昔話」、「大手前昔話パートII」において、それぞれ昭和11年から昭和20年、昭和25年から昭和30年卒業の方のお話や写真を頂き、これも貴重な資料となりました(内容は、金蘭会のホームページに掲載されています)。

ここにあげた写真は、大手前の正門ですが、昭和十年までは上の写真のような木製の門扉が使われていたようです。下の写真は、昭和十年以降の様子ですが、モダンな鉄製に替えられています。しかし、この鉄製の扉も戦時中の物資供出のため、昭和十八年に取り外され、わずか八年間の使用であったようです。大手前、金蘭会にまつわるユニークな写真や資料をお持ちの方、またその時代のエピソードでも結構ですので、情報を「金蘭会文庫委員会」までお寄せください。お寄せ頂いた資料は、原則としてデータとして処理した後、お返し致します。



(文庫委員会委員長 S53卒 渥美寿雄)



# 母校便り

## ◆本年度の人事異動(順不同)

〔退職された方〕

長尾 眞知子 先生(数学)

府立東寝屋川高校へ

〔転勤された方〕

久米 広 数 教頭

校長として府立泉南高校へ

島田 郁 夫 先生(地歴・公民)

府立布施工科高校へ

和田 肇 先生(数学)

府立泉北高校へ

城野 克子 先生(保健体育)

府立西成高校へ

野口 幸一 先生(英語)

指導主事として大阪府教育委員会教育振興室高等学校課へ

細川 拡 範 先生(英語)

府立和泉総合高校へ

(講師は含まれていません。)

〔着任された方〕

戸田 徹 教頭

府立大手前高校定時制課程より

永田 里 美 先生(国語)

新任

馬場 英明 先生(地歴・公民)

文化財保護課より

深川 久 先生(数学)

府立豊中高校より

長谷川 幸子 先生(数学)

新任

出畑 彰子 先生(保健体育)

府立松原高校より

池宮 彰子 先生(英語)

府立高石高校より

## 訃 報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

平成十八年五月十日

清田 之 長 先生

平成十九年一月十二日

岡 省 三 先生

## ◆平成十九年度大学合格状況

東京大学	2名
京都大学	28名
大阪大学	27名
神戸大学	21名
大阪市立大学	19名
大阪府立大学	22名
大阪教育大学	16名
関西学院大学	74名
関西大学	112名
同志社大学	79名
立命館大学	74名
慶応大学	9名
早稲田大学	7名
国公立大医学部医学科	9名

昨年度の関関同立合格者数として掲載されている人数は、合格者数ではなく受験者数でした。

## 集え、六十二年の時を経て

戦争による混乱の中、大手前高等女学校では昭和二十年、全校生徒が一堂に会しての卒業式が行えなかつたとお聞きしました。卒業生の方からお話をきっかけたいまして、このたび本校では生徒の平和学習の一環として、「六十二年目の卒業式」を企画いたしました。

第一部では、当時の学校生活や戦時下の生活についての卒業生の方々の講話をお聞きし、第二部では、在校生参列のもとに卒業式を挙行したいと考えております。

十月十二日午後、本校体育館にて実施いたしますので、該当される方々の参加をお待ち申し上げます。

(「六十二年目の卒業式」実行委員会)

## 「理数科体験入学」のお知らせ

申込方法

日 時 平成十九年十月二十日(土)

午後二時から五時まで

(受付二時三十分から)

対象 理数科に関心のある中学生三年生

と保護者および関係の教員

内容 校舎・施設見学、説明会、

体験授業(数学・物理・化学・生物)

申込締切 十月十一日(木) ※当日受付も可

千四〇一〇〇〇八

大阪府中央区大手前二丁目十一

府立大手前高校広報委員会まで

①中学校名②氏名③体験授業の

希望科目を第二から第三希望まで(数

学を必ず含むこと)④保護者同伴

の有無、を明記の上、ハガキ又は

FAX又はE-mailで

TEL06(6941)0051

FAX06(6941)3163

E-mail koho@otemae-osaka-c.ed.jp

HP http://www.osaka-c.ed.jp/otemae/

## 普通科 学校見学について

平成十九年六月三十日(土)に普通科体験授業を実施しましたが、今後の学校見学および説明会等に関しては本校のHPをご覧ください。

## 第十二回金蘭会母校支援文化行事

十月二日、大手前高校創立百二十周年記念式典が行われた。私は音楽科の橋本先生から、この式典のために卒業生の古部賢一さんというオーボエ奏者の方がいらつしやることをお聞きしていた。古部さんは有名な指揮者、小沢征爾さんのもとで演奏なさっていたそうである。演奏会になるのか楽しみだった。

卒業生の古部賢一(オーボエ奏者)氏を迎えて

## 創立120周年記念式典

高校時代からすでに夢に向かって動き出していた古部さんが、今こうして夢を実現させ、自分が築きあげてきた音楽を通して私達後輩に語りかけている姿には、大変感動し、励まされた。私も、自分が信じるものや、好きなこと、友達、学校生活など「今」を大切に思う気持ちを忘れず、さらに目標に向かって努力する心を持つて、残りの高校生活を邁進していきたい。

(三年 木村 友美)

※学年は昨年当時のもの



- **放送委員会**  
自治会行事(新入生オリエンテーションの部活動紹介、コーラス大会、文化祭、体育大会)での案内放送を行ったり司会を務めたりしている。
- **図書委員会**  
4,7,12月に Library Times を発行。ゴゴトに「図書委員の推薦図書」を掲載。昼休み・放課後の図書貸出・整理等の業務

## 運動系

- **水泳部**  
飛込みの部：インターハイ出場 高飛込み5位入賞、板飛込み5位入賞(平成17年度)  
競泳の部：インターハイ出場(平成17年度)  
飛込みの部：インターハイ出場(平成17年度)
- **登山部**  
夏合宿、平成18年度は上高地⇒奥穂高岳⇒岳沢⇒上高地  
その他、近畿の山に登る  
夏合宿、H17…ハヶ岳南部、H16…白馬岳～朝日岳、H15…立山、H14…南アルプス北部、H13…燕岳～蝶々岳、H12…白馬岳
- **硬式野球部**  
平成18年度、春季大会3回戦進出、夏季大会1回戦敗退、秋季大会1回戦敗退
- **陸上競技部**  
平成18年度 大阪高校女子駅伝8位入賞 1年生女子が1区で区間3位  
大阪高校総体女子800m 1年生女子第2位  
近畿高校総体女子800m 1年生女子第6位  
平成19年度 全国インターハイ大阪予選女子800m 2年生女子第8位  
近畿インターハイ(6/14～17)に出場
- **ソフトテニス部**  
平成18年度大阪府軟式テニス公立校大会 中央大会出場(男女とも)  
春季大会3回戦出場、大阪高校総体予選3回戦出場
- **硬式テニス部**  
H14女子(単)近畿大会出場、H15公立学校大会女子団体戦ベスト16、大阪高校総体本戦出場(H11男子単、H12男子単、H13女子単、H14女子単、H15女子単、H16女子単、H18女子単)  
平成19年度 大阪高校春季テニス大会シングルス 女子本戦出場  
平成19年度 スプリングテニス大会 シングルス男子本戦出場
- **柔道部**  
インターハイ大阪府予選出場、近畿大会大阪府予選兼新人大会出場、大阪市北地区大会個人優勝
- **サッカー部**  
(公式戦) 春季大会、大阪高校総体、新人サッカー大会  
(準公式戦) 大阪U-17サッカーリーグ2006  
(定期戦) 夕陽丘高校、金剛千里高校  
(その他) 天理カップを初め他にも練習試合30試合  
平成10年度新人サッカー大会 大阪府ベスト16  
平成11年度大阪高校総体 府ベスト16
- **卓球部**  
男子：大阪高校総体団体戦ベスト16、インターハイ協賛大会第3位、全国選抜シングルス予選ベスト32  
女子：個人戦で近畿大会出場
- **軟式野球部**  
全国高等学校軟式野球選手権大阪大会2回戦進出  
大阪府軟式野球公立大会2勝、ベストナイン受賞(投手)  
平成19年度春季大会2回戦進出
- **男子バレーボール部**  
総合体育大会東地区2位、1部リーグ2位
- **女子バレーボール部**  
平成18年度春季大会部別1部リーグ4位、インターハイ予選ベスト32  
大阪高校総合体育大会東地区ベスト8、府立高校大会ベスト8、大阪高校新人大会ベスト16  
平成17年度府立高校大会第3位  
平成19年度春季大会部別2部リーグ優勝、1部リーグ昇格  
平成19年度インターハイ予選ベスト32(4回戦進出)
- **男子バスケットボール部**  
全国高校バスケットボール大阪府予選、大阪総体新人戦3回戦敗退  
練習試合15勝7敗  
大阪高校総体 5回戦 対汎愛高校 敗退 ベスト32
- **女子バスケットボール部**  
全国高校総体大阪府予選・大阪総体予選・大阪高校総体新人戦に出場。他、西地区府立高校大会・クイーンズカップ等の大会に出場。  
大阪高校総体 1回戦 対枚方高校 敗退
- **ラグビー部**  
年間練習試合約30試合、夏合宿(4泊5日)実施  
春季大会(リーグ戦)2勝1敗、近畿大会予選2回戦進出  
全国大会予選準々決勝(3回戦)進出
- **剣道部**  
大阪府新人大会(男子個人4回戦進出、男子団体2回戦進出、女子団体3回戦進出…ベスト32)  
平成18年度大阪教育大学主催高校生招待試合の男子個人の部で3位入賞
- **バドミントン同好会**  
週2回、本校中庭で自主練習。長期休暇中に3～4回自主練習
- **合気道同好会**  
平成19年度に発足した同好会。10名程度で週2回、本校中庭で自主練習。長期休暇中にも3～4回。本年度末の黒帯取得を目指す。

# クラブ便り

## 文化系

- **ESS部**  
第46回大阪高等学校英語暗唱・弁論大会 決勝進出(上位10名)  
平成17年度 第45回大阪高等学校英語暗唱・弁論大会 第2位  
近畿高等学校英語スピーチコンテスト出場
- **文芸部**  
例年、春の文化系クラブ発表会、秋の文化祭に合わせて部誌「傾いた天井」を発行し、作品を発表  
通常は週1～2回様々なゲームを取り入れて活動。
- **美術部**  
第58回大阪府高等学校美術工芸展に出品  
第22回第3学区高等学校美術工芸展に出品  
上記展覧会および大阪府高等学校芸術文化祭(美術工芸部門)において入賞歴がある。
- **軽音楽部**  
校内では文化系クラブ発表会・文化祭で発表、その他ライブを実施  
校外ではスニーカーエイジに毎年出場(グランプリ大会出場経験あり)
- **吹奏楽部**  
吹奏楽コンクール北地区大会銀賞、大阪府アンサンブルコンテスト打楽器部門金賞  
狭山市ソロコンテスト・トランペット部門金賞、関西大会出場  
大阪府音楽会、第3ブロック音楽会、大阪府芸術文化祭吹奏楽部門参加  
定期演奏会(鶴見区民ホールで実施)  
平成16年度吹奏楽コンクール北地区大会金賞、府大会進出  
平成12年度吹奏楽コンクール関西地区小編成部門奨励賞  
第4回定期演奏会(H19.4.30) 鶴見区民ホール  
校内の文化系クラブ発表会に参加
- **茶道部**  
平成16年11月、裏千家淡交会近畿地区大会 学校茶道茶席参加  
平成18年7月、裏千家淡交会北支部「夏の学生茶会」(生国魂神社)にて茶席担当  
本校120周年記念式典茶席お手伝い  
文化祭・国際交流行事他、校内にて年に数回のお茶会開催  
大阪府立大学看護学部茶道部と交流、茶会参加  
平成19年度は校内で4月に新入生歓迎茶会、5月に3年生引退茶会等、1～2ヶ月に一度茶会を開催し、対外的にも5月に青友会茶会等に参加している。
- **演劇部**  
平成18年度大阪府A地区演劇研究大会出場、優秀賞、創作脚本賞受賞(優秀賞は2年連続受賞)
- **写真部**  
大阪高等学校文化祭奨励賞(平成16年度)  
近畿地区大会文化祭優秀賞(平成17年度)
- **生物部**  
長期にわたってウーパールーパー(アホロートル)の飼育を継続
- **理化学研究部**  
3ヵ月ごとに1テーマを取り上げ実験を行う。  
(実施したテーマ：色素増感太陽電池、大気中の二酸化窒素の検出・定量、食品中のビタミンCの定量、水の硬度測定)
- **書道部**  
古典の臨書を基礎に創作にも取り組んでいる。国際高校生選抜書展には大字書を出品。国際交流で外国からのお客様がある時には一緒に書道を楽しむ。  
国際高校生選抜書展入選
- **漫画研究部**  
校内行事である文化系クラブ発表会と文化祭に合わせて年2回部誌を発行。  
文化祭ではオフセット印刷による部誌も別途発行した。
- **ダンス同好会 → 部**  
平成19年度、同好会から部に昇格。  
文化系クラブ発表会、英国交流、文化祭(全日制、定時制)での発表  
清水パレエ教室発表会出演  
週3～4回、基礎練習を行う。11月に府大会と近畿芸文祭に出場予定  
週2回放課後練習、長期休暇中も同じペースで活動。
- **アットホーム同好会**  
年4回程度、行事にあわせて土曜日に料理を作っている。  
第54回全国高等学校家庭科クラブ研究発表会大阪大会の生徒実行委員として進行係を務める。  
5/26(土)新入生歓迎会でフルーツバイ・シチューを作った。  
6/16(土)、2/2(土)お菓子講習会開催、文化祭で展示・ボランティア活動をする予定
- **ボランティア同好会**  
文化祭の時に、アジアの子供たちの絵画を展示して、ユニセフグッズと月桂樹の葉を販売。  
収益の28500円をユニセフとアジア協会アジア友の会に送る。  
(過去に校外のボランティア活動にも参加)
- **園芸同好会**  
中庭に季節の花を植える。  
大阪府道路環境課と協力してアドプトロードに参加。校庭外周の花の手入れ  
ツタンカーメン王の墓から出土したと言われるえんどう豆を植え、収穫して次年度に引き継ぐ。
- **数学研究同好会**  
平成18年度日本数学コンクール優秀賞
- **将棋同好会**  
平成18年度に発足した同好会。第31回大阪府中学校・高等学校将棋選手権大会高等学校男子個人戦出場5名 S級で2年生1名が3位入賞



# 会務報告書

平成十八年度 事業報告

## 一、一般事業

### (1) 定時評議員会

平成十八年四月二十二日(土)  
於 金蘭会ホール

(出席六十八名・委任状八十名 成立)

①事業報告 決算報告 承認

②事業計画 収支予算 承認

③理事 監事選出

### (2) 理事会

第一回 平成十八年 五月二十日(土)

第二回 平成十八年 七月一日(土)

第三回 平成十八年 九月九日(土)

第四回 平成十八年十二月九日(土)

第五回 平成十九年 三月十日(土)

第六回 平成十九年 四月十四日(土)

### (3) 「大手前だより」発行

平成十八年七月

### (4) 新入会員歓迎会

平成十八年九月三日(日)

於 金蘭会ホール  
(新入会員百二十六名・先生十名 出席)

### (5) 新年互礼会

平成十九年一月二十日(土)

於 金蘭会ホール

(来賓四名・会員六十三名 出席)

(6) ホームページ運営

## 二、特別事業

(1) 母校主催事業に対する援助

(2) 母校国際交流事業に対する援助

(3) 母校創立百二十年記念事業

(4) 母校創立百二十年記念名簿の刊行  
(学校・PTA・金蘭会 共催)

(5) 第十一回国際グリム賞の予備選考

(6) アンコールオレングツァー実施

(7) パソコンスクール運営

(8) 金蘭会セミナー

(9) 第九十七回 平成十八年 四月二十一日(金)

(10) 第九十八回 平成十八年 五月二十日(金)

(11) 第九十九回 平成十八年 六月十六日(金)

(12) 第一〇〇回 平成十八年 七月二十一日(金)

(13) 第一〇一回 平成十八年 九月十五日(金)

(14) 第一〇二回 平成十八年 十月二十日(金)

(15) 第一〇三回 平成十八年十一月十七日(金)

(16) 第一〇四回 平成十九年 一月十九日(金)

(17) 第一〇五回 平成十九年 二月十六日(金)

(18) 第一〇六回 平成十九年 三月二十三日(金)

## 平成十九年度 事業計画

### 一、一般事業

#### (1) 定時評議員会

平成十九年四月二十一日(土)  
於 金蘭会ホール

(2) 「大手前だより」発行

平成十九年七月

(3) 新入会員歓迎会

平成十九年九月九日(日)

於 金蘭会ホール

(4) 平成二十年一月十九日(土)

於 金蘭会ホール

(5) ホームページ運営

## 二、特別事業

(1) 母校主催事業に対する援助

(2) 母校国際交流事業に対する援助

(3) 第十二回国際グリム賞最終選考と贈呈

(4) 金蘭会セミナー

(5) パソコンスクール運営

## 三、理事会開催予定日

第一回 平成十九年 五月十二日(土)

第二回 平成十九年 七月七日(土)

第三回 平成十九年 九月十五日(土)

第四回 平成十九年十二月八日(土)

第五回 平成二十年 三月八日(土)

第六回 平成二十年 四月十九日(土)

## 四、金蘭会セミナー開催予定日

第一〇七回 平成十九年 四月二十日(金)

第一〇八回 平成十九年 五月十八日(金)

第一〇九回 平成十九年 六月十五日(金)

第一一〇回 平成十九年 七月二十日(金)

第一一一回 平成十九年 九月二十一日(金)

第一一二回 平成十九年 十月十九日(金)

第一一三回 平成十九年十一月十六日(金)

第一一四回 平成二十年 一月十八日(金)

第一一五回 平成二十年 二月十五日(金)

金蘭会活動を支えるのは 皆様の年会費です  
昨年も年会費¥2000(卒業後5年間は免除)を納めていただいた3008名の皆様ご協力本当に有難うございました。  
また、5年前より新たに賛助金(1口¥2000)の呼びかけをさせていただきましたところ、さらなる負担にもかかわらず、昨年も1383口もの厚意を頂戴いたしました。本当に有難うございました。  
お蔭様で、母校創立120周年記念事業も十分に支援できました。  
また、「ホームページ」は5年目を迎え、皆様の関心に応えられるように、デザインを大幅にリニューアルすることになりました。  
さらに、母校の国際交流支援については、第5回目を迎え、派遣メンバーを今回より2名増やし8名とすることになりましたが、こちらの支援も順調にできるとなりました。  
決算書や予算書でお分かりのように、金蘭会の活動を円滑に維持していくには、幅広い皆様のご協力とご支援なしには成り立ちません。  
今年度の年会費は平成十四年までに卒業された方が対象となりますので、よろしくお願ひします。(平成十五年・平成十九年卒業の方は免除)  
年会費(¥2000)及び賛助金(1口¥2000)なども「大手前だより」に同封の振込用紙をご利用下さい。  
一人でも多くの皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。  
最後に、振込をして下さる方にお願ひがございます。昨年の4月より郵便振込の窓口扱いの手数料が100円になりました。機械式(ATM)の場合は従来通り60円となりますので、ご面倒をおかけしますが、ATMの利用をお願ひします。(銀行のATMより簡単な操作です)

振込はATMをご利用ください  
(会計理事 S40卒 田原由夫)

## 賛助金ご協力のお礼とお願い

平成14年から会員の皆様方にご協力を頂いております賛助金は、平成18年度、864名277万円のご支援を賜りました。人数、金額とも発足以来最高の数字となりました。母校創立百二十周年で何かとご無理を申し上げた年にもかかわらず、このようなご厚志を頂きました会員の方々に改めて感謝申し上げます。お陰様で同窓会の財政基盤が安定していることもあり、事業運営を引き続き円滑に取り進めることが出来ております。

今後とも皆様のご厚志を有効に活用させていただきます、会員の皆様のお役に立つ同窓会として、母校の教育活動へ貢献できる事業運営を継続的に取り進めて参りたいと存じます。

引き続きご厚志を頂戴いたしたく重ねてお願ひする次第です。事情ご賢察の上ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

(会長 升谷 博)



# 平成19年度収支予算

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

## 一般会計

### (1) 収入の部

単位(円)

科目	予算	備考
入会金	1,590,000	@5000×318名
賛助金	2,000,000	
会費	6,000,000	
名簿売上	150,000	
会館利用料・他	250,000	
財団法人金蘭会補助金	300,000	
寄付	-	
オレンジツアーより戻入	-	
(小計)	(10,290,000)	
前期繰越剰余金	16,864,327	
合計	27,154,327	

### (2) 支出の部

単位(円)

科目	予算	備考
[運営費]	[3,205,900]	
事務局費	2,615,900	明細の通り
会議費	140,000	理事会・評議員会
慶弔費	450,000	卒業生への祝菓子他
[一般事業費]	[4,150,000]	
大手前だより発行費	3,000,000	
新入会員歓迎会	450,000	
I T関連費	700,000	
[特別事業費]	[3,010,000]	
母校への支援	1,000,000	
母校の国際交流事業支援	1,200,000	
金蘭会セミナー補助金	250,000	講師謝礼他
国際グラム賞	500,000	(財)金蘭会と合計して100万円
文庫資料補修	30,000	
会員名簿整備	30,000	
[予備費]	[300,000]	
(小計)	(10,665,900)	
次期繰越金	16,488,427	
合計	27,154,327	

### (3) 事務局費明細

単位(円)

科目	予算	備考
運営助手手当	700,000	
交通費	5,000	
事務用品費	330,000	コピー代、封筒代他
通信費	200,000	
印刷費	200,000	払込票他
電話料	110,000	ファックス料を含む
会館運営費	440,000	清掃費、空調メンテナンス料他
払込料	300,000	会費・賛助金等の払込料
リース料	270,900	コピー機のリース料
雑費	60,000	火災・損害保険料、委託料他
合計	2,615,900	

### 付1 改築費

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	1,621,480

### 付2 金蘭会創立110周年基金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	5,272,590

### 付3 母校国際交流事業 金蘭会奨学金基金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	600,000

### 付4 オレンジツアー準備金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	478,728

# 平成18年度決算報告書

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

## 1 一般会計

### 1-1 収入の部

単位(円)

科目	予算	決算	備考
入会金	1,600,000	1,385,000	@5000×317
賛助金	2,000,000	2,767,000	
会費	6,000,000	6,016,000	
名簿売上	(明細にします)		
会館利用料・他	200,000	307,033	
財団法人金蘭会補助金	250,000	250,000	
寄附	-	30,000	
オレンジツアーより戻入	-	500,000	
(小計)	(10,050,000)	(11,545,033)	
前期繰越剰余金	13,287,132	13,287,132	
合計	23,337,132	24,832,165	

### 1-2 支出の部

単位(円)

科目	予算	決算	備考
[運営費]	[3,515,900]	[3,126,139]	
事務局費	2,785,000	2,502,943	明細の通り
会議費	140,000	93,146	
慶弔費	580,000	440,031	
[一般事業費]	[5,870,000]	[2,832,011]	
大手前だより発行費	3,000,000	2,264,814	
新入会員歓迎会	400,000	375,900	
I T関連費	470,000	211,287	
[特別事業費]	[2,010,000]	[1,928,480]	
母校への支援	1,000,000	1,000,000	
母校の国際交流事業支援	250,000	250,000	
金蘭会セミナー補助金	220,000	208,480	
国際グラム賞	500,000	500,000	
文庫資料補修	30,000	0	
会員名簿整備	30,000	0	
[予備費]	[300,000]	[31,227]	
(小計)	(9,665,900)	(7,967,838)	
次期繰越金	13,641,232	16,864,327	
合計	23,337,132	24,832,165	

### 1-3 事務局費明細

単位(円)

科目	予算	決算	備考
運営助手手当	700,000	733,700	
交通費	5,000	0	
事務用品費	330,000	342,019	
通信費	200,000	183,160	
印刷費	200,000	272,160	
電話料	110,000	111,375	
会館運営費	440,000	308,929	
払込料	300,000	300,670	
リース料	270,900	270,900	
雑費	60,000	50,940	
合計	2,785,000	2,802,943	

### 付1 改築費

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	1,621,480

### 付2 金蘭会創立110周年基金

単位(円)

科目	収入	支出
前期繰越金	5,567,910	
母校創立120周年記念関連事業へ		4,500,000
母校創立120周年記念関連事業上	4,192,064	
母校創立120周年記念誌・記念品現金	12,616	
次期繰越金		5,272,590
合計	9,772,590	9,772,590

### 付3 母校国際交流事業 金蘭会奨学金基金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	600,000

### 付4 オレンジツアー準備金

単位(円)

科目	金額
オレンジツアー 現金	478,728

### 参考4-1 平成18年度会費

### 参考4-2 預り会費

科目	金額	科目	金額
平成18年度会費	6,006,000	前期繰越金	634,000
上記の円金年度会費	-198,000	上記の内、本年度分	-148,000
前年度の内、本年度分	+148,000	本年度振込の預り金	+198,000
平成18年度会費	6,016,000	次期繰越金	684,000

## 2 財産目録(平成19年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
現金	21,425	金蘭会館改築基金	35,768,374
普通預金	3,130,383	同上改築費残高	1,621,480
(三井住友B/T天満橋)	3,749,182	次年度以降会費預り分	684,000
郵便貯金	18,583,640	オレンジツアー準備金	478,728
(中之島郵便局)		金蘭会創立110周年基金	5,272,590
金蘭会館設備	23,971,530	金蘭会奨学金基金	600,000
同上什器備品	11,796,844	未払金	13,050
電話加入権	54,543	預り金	5,000
合計	61,307,549	剰余金(前期繰越剰余金)	16,864,327
		合計	61,307,549

平成19年3月31日

金蘭会 会計理事 田原 由夫  
会計理事 平松 美樹

## 監査報告

このたび平成18年4月1日から平成19年3月31日までの決算について、監査を行いましたところ、適正にして正確でありましたことをご報告申し上げます。

平成19年3月31日

金蘭会 監事 勝部 慶次  
監事 藤岡美紗子

## 2-1 母校創立120周年記念関連事業

単位(円)

科目	収入	支出
120周年基金上	4,500,000	4,500,000
120周年基金へ		3,000,000
祝賀会補助	500,000	663,435
120周年基金へ	1,000,000	2,036,799
現金(110周年基金へ戻入)		4,192,064
合計	4,500,000	7,184,144

## 2-2 母校創立120周年記念誌・記念品

単位(円)

科目	収入	支出
申込金(391×@2000)	782,000	
記念品(文類)代の支払		339,782
記念誌代の支払		296,892
記念品・記念誌の発送費		302,735
現金(110周年基金へ戻入)		12,436
合計	782,000	782,000

## 参考4-1 セミナー収支報告書(95年～98年10月～1998年)

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
年会費	227,000	通信費	258,070
当日会費	791,500	講演料	90,000
一般会計上	208,480	食費	881,860
120周年基金上	8,790	雑費	5,840
合計	1,235,770	合計	1,235,770

## 参考4-2 100回記念セミナー収支報告書

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
当日会費	170,000	講演料	80,000
寄付	345,000	食費	264,436
		名簿代	98,802
		名簿広告料	40,000
		雑費	22,972
		経費(120周年基金へ)	8,790
合計	515,000	合計	515,000

## 参考4-3 新年互礼会収支報告書

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
念誦・馬	315,000	食費	278,600
香典・寸志	60,000	参加費・雑費	106,362
一般会計上	19,396	雑費	9,434
合計	394,396	合計	394,396

## 参考4-4 新入会員歓迎会収支報告書

単位(円)

収入科目	金額	支出科目	金額
寄付	80,000	会費	342,718
一般会計上	375,900	参加費・雑費	102,040
		雑費	11,142
合計	455,900	合計	455,900

## 母校創立120周年記念祝賀会 会計報告

祝賀委員会 榎井恵子

収入	金額	支出	金額
現金(110周年基金へ)	5,630,000		4,966,365
現金(110周年基金へ)			663,435

## 名簿発行会計報告

名簿委員会 行田由子

収入の部	金額	支出の部	金額
名簿売上	@5,000×500冊	2,500,000	
	@3,500×14冊	77,000	
広告料		3,958,360	
雑収入		822	
合計	6,506,182		

## 【支出の部】

名簿発行費 4,545,473

## 【残金】

110周年基金へ繰入 2,020,709

## アンコールオレンジツアー収支報告書

オレンジツアー実行委員会

収入	金額	支出	金額
現金	806,442	ツアー運営費	86,856
		土産・現金へ戻入	500,000
		金蘭会館	
		2500円クーポン券	981,225
合計	806,442	合計	887,321
現金		大岡山ツアー準備金	478,728



# ルご案内

## 運営委員会

### 金蘭会ホール使用要領

1. 使用対象者  
金蘭会会員  
金蘭会会長又は大手前高等学校長が認めた者
2. 使用可能日時  
火、木、土曜日  
午前11時～午後4時  
午後5時～午後8時
3. 申込について  
①事務局に申込み。  
TEL 06-6942-3947 FAX 06-6942-4124  
使用希望日が重複した場合は先着順。  
②事務局から申込者に申込用紙を送る。  
③申込者は用紙に所定事項を記入して事務局に送る。  
④事務局より申込者へ許可証を送る。  
⑤許可証を当日持参のこと。  
⑥寿司、軽食等の出前希望のときは、申込書にその旨を記入のこと。
4. 使用料金

	午前11時～午後4時	午後5時～午後8時
会議室 (30名～50名)	3,000円	5,000円
談話室 (20名～30名)	3,000円	5,000円
5. その他  
使用目的が同窓会活動に著しく逸脱する場合は許可しません。  
使用においては学校敷地内であることを配慮のこと。

長浜金岩岸升松賀島奥濱武吉岩  
田田田嶋田谷岡本崎田 田田田  
澄昱昭那政 弘和倭美恵郁千和歌  
代子子子子博次子子子子子子子  
S S S S S S S S S S S S S S S  
30 29 29 29 28 27 25 25 21 20 19 19 16 16  
高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高  
校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校

## 第十期皆勤賞

野谷大辻安留中吉繩小永川  
口村治岡積井道本手田野瀬  
幸瑞和由香恵 浩ケ純智明  
一栄美紀子子昇子子子子子雄  
S S S S S S S S S S S S S S S  
54 50 46 45 40 39 32 31 31 31 30 30  
高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高  
校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校

10期連続皆勤



- 備考
- 警察本部
  - 業研究会関西支部前支部長
  - 理学工学部電気電子工学科助教授
  - 院大学・大阪産業大学非常勤講師
  - 立大手前高等学校校長
  - 業大学短期大学部非常勤講師
  - 業織造大学工学部電子情報工学科助手
  - 科大学医学部教授
  - ンターネット医療協議会理事長
  - 大学非常勤講師 工学博士
  - 前高校教諭
  - 前高校教諭
  - 立総合資料館勤務
  - 司代表取締役
  - 司経務局管理部勤務
  - 広域臨海環境整備センター
  - 社長
  - 科学大学名誉教授コソウノ州立大学客員教授
  - 電器株式会社機械設計技術者
  - ン予防検診センター名誉部長
  - 科大学院医学研究科生体情報形態学教授
  - んな文化学術協会理事長
  - 向院眼科副部长・おかもと眼科クリニック院長
  - 学医学系研究科・生命機能研究科 教授
  - 大学非常勤講師工学博士
  - 高校英語科教諭
  - ス大学大学院卒元電通勤務、兵庫医大、  
師など
  - 学大学院 総合人間科学研究科
  - 社間熟代表取締役会長
  - 方家庭裁判所調停委員
  - 術大学建築学科教授
  - 外、西宮芸術文化協会会員ナースワリア国家試験合格演劇家
  - 裁判官制度改革等推進本部事務局局長
  - 学大学院人間・環境学研究科教授
  - 人松田メディカル理事長
  - 地研究所名誉教授
  - 人 松田メディカル理事長
  - 大阪国際経済振興センター-国際部企業誘致課「IBPC  
4級センター」主任/企業誘致プランナーにぎわい堂代表
  - 株式会社生産本部部长兼研究開発室長工学博士
  - 毛丘高等学校事務-大阪大学先端科学（バージョンセンター）客員
  - 学院大学大学院ビジネススクール経営戦略研究科非常勤講師
  - 地研究所名誉教授
  - 人間環境大学教授
  - 大男山病院院長
  - 腎病院院長
  - 大学院南学研究科顎口顎顔面治療学教室 助教  
任中間法人TOUCH代表社員（平成18年から勤務）
  - イ・ビー・エム勤務
  - 理学工学部 助教授工学博士
  - イ・ビー・エム勤務
  - 葡萄酒株式会社（グレイスワイン）農場長
  - リージェンシー・オーサカ株式会社取締役社長
  - 前高校教諭



学年を越えたお友達  
新しい出会いが  
広がっています

●とき 毎月第3金曜日  
PM 6:00～7:00 卓話  
PM 7:00～8:00 交流会

●ところ 金蘭会ホール  
〈通信費〉年間1,000円  
(年10回 往復はがき代)  
〈参加費〉当日徴収 1回1,000円  
(軽食費込み)

●申込方法……金蘭会セミナーの通信費1,000円を、「大手前だより」に  
同封の振込用紙にてお振り込み下さい。振り込んでいただいた  
方に毎月往復はがきにてご案内いたします。出欠はその都度お  
返事ください。  
参加費1,000円は当日いただきます。  
(同伴・ビジターは1,500円)

予告 9月 テーマ：  
「四国お遍路とその後」  
講師 留井英明氏 (S34卒)

**第12期金蘭会セミナーのお誘い**



# 金蘭会ホ

## 金蘭会セミナー

平成8年9月20日スタート

平成18年7月21日  
第100回記念講演

好評につき  
継続中

回	テ	マ	講師(敬称略)	卒年	備	考
1	趣味(芸)は身をたすく		上川庄二郎	S29	神戸市立青少年科学館長	
2	変わる水族館「海遊館」		多田 嘉孝	S30	大阪ウォーターフロント開発(株)広報室長	
3	古代史幻想・・・河内平野が海だった頃		倉西 博之	S27	金蘭短期大学教授	
4	思いがけない災害に遭遇して		土田 英 今林久美子	S14 S39	阪神淡路大震災で自宅半壊 阪神淡路大震災で自宅全壊	
5	楼蘭に佇んで		岸田善三郎	恩師	元大手前高校教諭	
6	東山魁夷の人と芸術		佐々木 徹	S35	追手門学院大学教授・関西学院大学教授	
7	文楽よもやま話		高木 浩志	S32	NHKメディアプラン制作本部長	
8	楽しさ運んで大阪ドーム		今田 隆	S29	大阪シティドーム社長	
9	はるかなるシルクロード 玄奘三蔵の歩いた道		安田 順恵	S29	奈良地方家庭裁判所調停委員	
10	バングラデシュ～農村女性に 「長年かかわって驚くこと思うこと」		高橋 千夏	S4	草の根運動「共に生きる」集い代表	
11	知っておきたい相続問題		田中 宏幸	S49	大阪弁護士会所属弁護士	
12	ボケないためには・・・		小林 敏子	S30	関西福祉大学教授	
13	日本の古美術について		山元 崇	S24	六甲山ホテル会長	
14	日本の医療の現状を考える		神前 格	S44	有馬温泉病院副院長	
15	知っておきたい相続問題～その2～		田中 宏幸	S49	大阪弁護士会所属弁護士	
16	テレビ、舞台よもやま話		楠 年明	S27	俳優	
17	船場・・・なにわ商人今昔ばなし		牧野 亮介	S27	伊藤忠商事系列会社営業顧問	
18	ガンは怖くない		小川 嘉登	S29	総合病院多根病院院長・大阪大学第2外科講師	
19	七宝と色いいろいろ		留井 恵子	S39	七宝サロンけい主宰・国際美術工芸協会常任理事	
20	船場・・・なにわ商人今昔ばなしその2		牧野 亮介	S27	伊藤忠商事系列会社営業顧問	
21	魚の不思議		多田 嘉孝	S30	大阪ウォーターフロント開発(株)広報室長	
22	知っているようで知らない原子力 よくある疑問あれこれ		渥美 寿雄	S53	近畿大学講師	
23	日本の金融機関の実情		吉永 豊彦	S40	経営コンサルタント	
24	弁護士30年 働くことと子育てと		川西 渥子	S34	弁護士	
25	国際機関における日本の役割		浅田 均	S45	前OECD(経済協力開発機構)職員	
26	世紀末雑感～「ひと」はどこへ行くのか		秋山 陽彦	S29	医療法人仁友会桜宮クリニック院長	
27	日本のホール、ヨーロッパのホール ～録音の現場から～		平澤 佳男	S29	(株)フェイス	
28	中高年の目の健康		二宮 慎子	S29	医療法人二宮眼科院長・伊丹市教育委員	
29	世界音楽アラカルト		足立 勝	S29	大阪音楽大学教授	
30	70才からの再出発		須賀有加子	S30	姫路獨協大学教授	
31	ライフスタイルと健康		森本 兼親	S40	大阪大学医学部教授	
32	これだけは知っておきたい身近な法律問題 ～被害に遭わないために～		田中 宏幸	S49	大阪弁護士会所属弁護士	
33	二十世紀の演奏変遷 ～「魔王」40演奏の聴き比べを通して～		荒川 恵子	S56	京都女子大学講師	
34	新春お茶席・続編 これだけは知っておきたい 身近な法律問題～被害に遭わないために～		佐藤 宗紀 田中 宏幸	S30 S49	茶道裏千家正教授 大阪弁護士会所属弁護士	
35	フェルメールを見るという奇蹟 ～17世紀オランダが生んだ天才画家～		山内 鉄太	S36	大阪市立美術館副館長	
36	大橋わたって花の島へ ～明石海峡大橋の架橋技術と架橋効果～		耕 章	S45	本州四国連絡橋公団総務部長	
37	歯のはなし・入れ歯のはなし		羽生 哲也	S30	福岡歯科大学教授	
38	21世紀の地球科学へ向けて・・・OD21		石坂 恭一	S29	京都大学名誉教授	
39	大手前校生はいま・・・		森田 文彦		大手前高等学校校長	
40	声を出して元気になろう。オンチもなおる		足立 勝	S29	大阪音楽大学教授	
41	テレビよもやま話		川上 修司	S26	関西民放クラブ理事長	
42	美術教育と人間形成を考える		泉地 道子	S26	嵯峨美術短期大学教授	
43	地球に優しい生分解性プラスチック		岡村 圭造	S25	京都学園大学教授・京都大学名誉教授	
44	都市の時代		佐々木 伸	S28	財団法人大阪国際交流センター会長	
45	廃プラスチックのリサイクル		橋本 健治	S29	福井工業大学教授・京都大学名誉教授	
46	現代の葬儀ビジネス		小西 幸治	S41	株式会社社会公益事務取締役	
47	学校唱歌にみる大平記		藤原 啓助	S28	日本グクタイトル鉄管協会関西支部長	
48	アジアの元気な中小企業 ～ビジネスパートナー都市って何?～		寺西 章江	S57	大阪ビジネスパートナー都市交流協議会広報主任	
49	花外樓物語		徳光 清子	S14	花外樓代表役員	
50	ワインと推理小説 50回記念パーティ「ワインと共に・・・」		佐々木 伸	S28	財団法人大阪国際交流センター会長	
51	ゆらく夫婦関係～昨今の離婚の事情～		勝部 慶次	S27	大阪家庭裁判所家事調停委員・勝部慶次会計事務所長	
52	チーズアラカルト歴史、種類とその特徴、製法等		古川 三恵	S39	世界チーズ協会(株)取締役総務部長 Bashior Of Cheese	
53	源氏物語の女君のこぼれ(抄)～「わかりあえるか男と女」		松野 由子	S23	大阪教育文化センター研究員・元大阪府立高等学校教諭	
54	歴史に学ぶ		岸田善三郎	恩師	日本史担当 敷田等瑞宝章受勲	
55	介護保険について		高橋 仁志	S30	登山クリニック院長・金蘭会近鉄支部長	
56	ラグビーをとおして得たもの		市口 順亮	S34	中央広告株式会社社長・京都大学ラグビー部監督	
57	わかりあえるか男と女～源氏物語の桜～		松野 由子	S23	大阪教育文化センター研究員 元大阪府立高等学校教諭	
58	フイピンと日本の深い関係～日系人に日本を教える～		花原 亨	S32	元松下電工(株)開発研究所主幹技師	
59	企業は人なり、人生も人なり～補償合うも多生の縁		旭 藏郎	S38	日刊工業新聞社大阪支社編集局長	

回	テ	マ	講師(敬称略)	卒年
60	息子のアトピーが教えてくれたもの		楠田 康幸	S56
61	健康管理と体質改善のためのわかりやすい食養生		深本 明子	S29
62	インターネットを楽しもう		渥美 寿雄	S53
63	南極散歩		上川庄二郎	S29
64	人生を2倍楽しむ～お互いに育てあう共育ち人生～		馬越かよ子	S37
65	歩きお遍路1500km～ひとり、いっしょに～		留井 英明	S34
66	インターネットを楽しもう-その2		倉本 到	H5
67	インターネット発達のバックグラウンド 医療系の応用を考えた、高度情報化社会を解剖する!		辰巳 治之	S50
68	芥川龍之介・作 「杜子春」		楠 年明	S27
69	思い出の学校唱歌		藤原 啓助	S28
70	「おくの細道」ここかしこ		杉野としよ	S17
71	能「景清」をめぐる		岸田善三郎	恩師
72	夫婦創生論について		鎌田 明彦	S37
73	船場の移り変わり箱寿司の話		橋本 英男	S36
74	阪神大震災から9年。そして今。どう構えたいの		小林 一則	S50
75	ゴミと環境の話-身近な環境から地球環境まで		鈴木 嘉一	S40
76	節句人形よもやま話		三木 啓二	S15
77	コロラドの歴史と文化		作田 共平	S27
78	インターネットで音楽を楽しもう		奥山 峰生	S34
79	ガンで死なないために		野田 定	S24
80	戦略的防衛医療構想		辰巳 治之	S50
81	遺伝子組み換え食品の安全性審査と一般市民の意識		高橋 克忠	S31
82	白内障。老眼はこわくない		岡本 直之	S50
83	人体は再生できるか?幹細胞とクローン		仲野 徹	S50
84	懐しの映画音楽(洋画)懐しの映画主題歌(邦画)		藤原 啓助	S28
85	英語雑学と今時の大手前		野口 幸一	S54
86	なぜ、どうして、どのように英語を学ぶか ～異文化理解の断片		林 洋子	S27
87	夢、総投。大人の甲子園大会「マスターズ甲子園」		彦次 佳	H10
88	いつも心に大手前		田部井昌子	S27
89	遙かなるシルクロードを想う玄奘三蔵の道		安田 順恵	S29
90	平等院鳳凰堂のCGによる復元		樋口 文彦	S34
91	ウィーンこぼれ話		久下 真理	S50
92	司法はどう変わるか...裁判員制度を中心にして 「裁判員制度であなとも裁判員に」		明賀 英樹	S45
93	われわれはなぜ嫌われているか? 最近の日中関係を考える		江田 憲治	S49
94	常識はずれの医学		松田 育三	S30
95	わが国南極観測の50年		渡邊 典重	S33
96	常識はずれの医学 パートⅡ		松田 育三	S30
97	空襲の私設寄合所～にぎわい堂の試み		寺西 章江	S57
98	灘の酒造りと四方山話		西村 顕	S52
99	現在特許事情～企業の頭脳戦略～		小南 典子	S52
100	わが国南極観測の50年パートⅡ		渡邊 典重	S33
101	建築の語りかけるもの		島崎 義治	S50
102	生活習慣病		豊 祐	S34
103	食欲の秋に歯の話一本の歯を守るために		吉田 春陽	S42
104	口腔ケアで防ぐ嚥下障害		館村 卓	S48
105	大手前 昔話		江田 龍咲	S50
106	地球環境とエネルギー		渥美 寿雄	S53
107	大手前 昔話パートⅡ		江田 龍咲	S50
108	ワインの話		赤松 英一	S40
109	ホテルよもやまばなし		谷口 俊司	S47
110	百人一首と大手前生		大蔵治和美	S46







# 各委員会より

## ▼IT委員会

IT委員会は、一般事業として、金蘭会のホームページの運営、特別事業として、パソコンスクールを運営しています。

## ホームページ部

この二年間のトップページへのアクセス総数は二万四千件余りで、一日平均七十件近いアクセスがあります。十七年度と比較して、若干の減少傾向が見られます。これは、コンテンツの更新頻度が減少しており、普段からアクセスしているリピーターの数が減っているためと推定しています。十八年度から、新たに二名の若い方(昭50年卒)が参加され、活躍していただいています。アクセス件数の多いページの上位は、「金蘭会セミナー」、「今月のPhoto」、「大手前の今昔(写真ページ)」、「ここに人あり」、「Web版大手前だより」となっています。平成十九年度はトップページのデザインの大幅な更新を予定しています。

## パソコンスクール部

スクール開催日数はイベントを含んで、六十九日、百三十七時間、延べ受講生は千二百人を越えました。平成十九年度も、前年度と同様、月、金曜の開講可能日にスクールを開く予定です。IT委員会は、ボランティアで集まった会員で運営しています。委員会活動に協力していただいている方がおられましたら、是非ご連絡下さい。お待ちしております。

(IT委員会委員長S28卒 藤原 啓助)

## ▼行事委員会

### 新入会員歓迎会

平成十八年度の新入会員三百十七名を歓迎し、九月三日(日)金蘭会ホールに於いて、新会員百二十六名が出席して歓迎パーティーが開催されました。



たくさんのお料理と美味しいケーキや果物、出席者全員への参加賞、先輩会員ご提供の豊富な賞品によるゲーム等で、新会員を歓迎しました。卒業後初めての学年会でお友達との会話も弾んでいました。

今後の同窓会活動への理解と参加につながるのではと思います。

(行事委員会委員長S40卒 安積 香代子)

### 平成十九年度卒の皆様への予告

今年度の新入会員歓迎会も母校文化祭の日程に併せて開催します。

日時 平成十九年九月九日(日)

十二時三十分より

場所 金蘭会館二階 金蘭会ホール  
会費 無料

内容 立食パーティー ゲーム  
メールでの申し込み締め切り

九月三日(月)

あて先 金蘭会事務局  
電子メールアドレス: kimran-j@letacone.jp

詳細は往復はがきにてご案内します。  
◎奮ってご参加ください。

# 学年会だより

## いざよい会

(昭和十六年卒)

平成十八年度のいざよい会は、十一月十四日(火)に一年ぶりに開きました。

会場は、天満橋のOMMビル21階の楽待庵でした。楽待庵とは、豊臣秀吉の豪華絢爛たる聚楽第の「楽」と、千利休のわびさびの極致の茶室「待庵」からとった名ということです。

真正面に堂々たる天守閣が見える最高の部屋を用意して頂き、懐かしい母校を望みながらの楽しい会合でした。出席者は十九名。年々少なくなるのは、大変淋しいことですが、出席された方々はとても元気で、八十歳を過ぎたとは思えず、今尚このように楽しい集いに参加出来たことの幸せを、しみじみと心から喜び合いました。

美しい器の一つ一つにも心のこもったミニ懐石、本当においしく頂きました。その間にもお話はつきることなく、楽しい一時でした。

食後、屋外で、天守閣を背景に記念写真を撮り、その後、タクシーに分乗して、母校を訪問しました。教頭の久米先生と、お若い永島先生のお二方にいろいろとお話を聞きながら校内を案内して頂きました。最上階の特別応接室はとても見晴らしがすばらしく、何と言っても真正面に天守閣が見えるのが最高でした。在校生の人達の元気活発とした姿を拝見し、自分達の過ぎた時代を懐かしく思い出しました。

皆さんの希望もあり、来年も楽待庵ですることに決まり、一年後の楽しみを胸に、再会を約して解散致しました。

藤原 幸子

松根 照子

土井 薫(記)

## あおぎり会

(昭和十九年卒)

五月晴と言うより暑いぐらいの快晴に恵まれた五月九日、大阪心斎橋日航ホテルで同窓会をひらきました。四十七名も集まり、集合の良さは戦時中の集団訓練のたまもので流石だと感じました。

卒業年は昭和十九年、今年も平成十九年で、同じ十九年でも雲泥の差と感慨深く、戦争で波乱の学生時代を懐かしく思い出し、おいしいフランス料理に心を和ませ、又来年の再会を約して別れました。

齢八十一才の一期一会は、未だ捨てたものではないようです。

林 ミチ子

## 紫蘭会

(昭和二十年・四卒)

平成十九年五月八日(火)シエラトン都ホテル大阪に於いて、年一回の学年会を開催しました。

昨年十一月二日、大手前高校創立百二十周年記念の会に出席され、ご挨拶もされた坪井明先生が、今年の紫蘭会にもご出席の予定でしたが、生憎体調を崩され欠席されました。先生には当日の集合写真と寄せ書きの色紙を届け、ご健康とご長寿をお祈りした次第です。



今回の紫蘭会出席者は四十三名、欠席者は怪我や体調不良、ご主人やご家族の看病、或いは現役の医者やボランティアに忙しい人など様々でした。出席者の中には久しぶりの人もあり、六十二年前の女学生に還った思いで楽しく語り合い、有意義なひとときを過ごすことが出来ました。

今年秋に母校で、戦時中の女学生だった私たちの体験を平成の時代に学ぶ在校生に語る交流会と、当時母校で出来なかつた卒業式とを体験させて頂き、さると伺っています。後日学校から「案内も下さるとのこと、残り少ない人生の大きな思い出の一日となりますよう、大勢の皆様と参加させて頂きたいと存じます。何卒よろしく願い申し上げます。



当番一同

## 二七会学年会だより

昭和二十七年卒

花便りがあちこちで聞かれ始めた三月二十四日(土)、昨年と同じ会場、ホテルグランヴィア大阪で、卒業五十五周年の学年会を開催した。首都圏、岡山からの四名の遠来の出席を含め、男性二十三名、女性二十二名、来賓に恩師の岸田先生の出席を頂いて総勢四十六名。やや出席は少なかつたが、前回欠席の方で今回出席

の方が、十二名おられたのはうれしかった。

現役で舞台やテレビで活躍中の楠君の名司会が花をそえ、岸田先生のご挨拶、遠来の和氣君の乾杯で宴はスタートした。あつという間に五十五年前にタイムスリップ：昔の思い出とお互いの近況を語り合い、話の輪があちこちに広がった。数名の方々からの自分の人生経験を踏まえたスピーチに、出席者からうなずきも見られた。欠席者の近況報告の葉書がボードに掲示され、自分の体調やご家族の状況で、出席したくてもできない方がかなりおられる事は、誠に残念であった。恒例となった勝部夫人の熱唱、特に「湖畔の宿」は、本当に素晴らしかった。集合写真の撮影後、校歌を斉唱しお開きとなった。来年は三月でなく六月二十一日(土)の開催を決定し、出来るだけ多数の方々の出席をお待ちして再会を約した。

升谷 博

## 五期生学年会報告書

昭和二十八年卒

「元氣やつた?」「まあまあや」司会の熊谷君の「物語者に黙祷」の後、「段々減っていくなあ」の声。毎年学年会を開くことにして六年くらい経ちます。クラス幹事は大変ですが、実業からの卒業生が始どなので、そう苦になつていないようです。

平成十八年六月二十四日に肥後橋にある北京料理店「徐園」で六十人が出席、中來田先生、岸田先生、水田先生を来賓として出席頂き、午後のおときを熊谷君の司会で始め、会長の方丹羽権平君が挨拶(急患のため少し

遅れての出席)する頃にはそれぞれのテーブルでは楽しい会話が飛び交っていました。

平成十八年は戊午年で、参加者は七十二歳を迎えた者、近々迎える者と、大手前高校を卒業して五十年以上経つても、会話は「おう」「やあ」で始まっています。「久しぶりに出席したが、結構楽しかった」高校へ入学して初めてのクラスメートになった仲間との会話が、やっぱりはずんでるように見えました。長い人生の中で、たった三年間の仲間ですが、高校時代という連帯感がお互いの心を癒しているようです。「毎年開催」ということが、五期生、昭和二十八年卒業生の「楽しさ」「癒し」そして「明日」への「目」になることを念じています。

小川 敏之

## クラス同窓会

昭和二十八年卒(一年二組)

平成十八年十二月十九日、卒後はじめてのクラス会を持ちました。故人となられた担任の原敏子先生と級友三名の冥福を祈り、薬師寺にて写経いたしました。小雨煙る西の京は午前中のこともあり人も少なく、厳かな雰囲気の中祈りを捧げました。しばし故人を追想しました。その後境内を散策、東塔、聖観音、日光月光などなどを拝し、紫式部の嘆き乱れる山路を通り、午後は名亭菊水楼にて小宴を楽しみました。

何しろ五十年ぶりに再会した仲間も多く、歓談はつきず料理の味はどこへやら、あつという間に三時間も経過してしまいました。薄暮

の猿沢池を周り名残り惜しみ乍ら散会しました。

街ですれ違つてもおそらくお互いに気づかないでしょうが、一旦顔を合わせると昔に戻って口をきけるのは嬉しい限りでした。

参加者十三名、全員揃つて七十歳を過ぎても元氣そのもの、まだまだこれからを楽しむ意気込みでした。エアロビクスの先生も居り、四国八十八ヶ所を二度も廻つたとか驚きです。

長い間開催していなかっただけに次回に寄せる期待も大きく、次の幹事さんを決めましたので何卒よろしく願います。

がんばろう!!

田中 藏



## 学年会のお知らせ

昭和二十九年卒

昨年秋には、関東在住の皆さんのお世話で、二年に一度の学年会を、琵琶湖畔のリゾートホテル「エクシブ琵琶湖」で行いました。秋晴れのなか彦根城を見学し、懇親会は和氣あいあいのうちに夜遅くまで続きました。翌日は、有志で湖東三山紅葉巡りとゴルフ組に分かれ、それぞれに行楽日和を楽しみ、有意義な一日を過ごしました。

さて、盛り上がった懇親会の席上で、来年もやろう、ということになり、今秋神戸で行うことになりました。三月に皆さんにご案内をしておりますが、左記の通りです。参加予定の方々には、九月下旬に詳細をお知らせします。



楽しみにお待ちください。

記

一、11月16日(金)11時～14時

藤原榮子さん経営の画廊「ミゼ・アガサ」で同期生の皆さん方の作品展(絵画・書道・写真等)を鑑賞します

二、11月16日(金)15時～16時30分

クルーズ船「CONCERTO」で明石海峡付近までのテイ・クルーズを楽しみます

三、11月16日(金)17時～

神戸メリケンパークオリエンタルホテルに集合の後、懇親会を開催します

四、11月17日(土)朝食後、自由行動

六期会学年会幹事一同

## 卒業五十周年記念学年会

(昭和三十三年卒)

来年平成二十年は我々卒業五十周年に当ります。

これを記念して学年会を開催すべく、幹事が企画立案中です。取り敢えず本紙面をお借りして、開催日時・場所等概略をご案内申し上げます。

記

一、日時・場所

平成二十年四月十七日(木)～十八日(金)

一泊二日

ダイヤモンド滋賀(総合リゾートホテル)

滋賀県甲賀市土山町一七一

TEL:〇七四八―六八一〇二二一

最寄駅:JR草津線貴生川駅

二、行事予定

一日目

総会及び懇親夕食会

四月十七日十七時開始

二日目(一部変更も有り)

・同ホテル併設ゴルフ場でのプレイ  
・同併設テニスコートでのプレイ

・同併設グランドゴルフ場でのプレイ 等

三、参加費用概算(往復交通費は別途)

・宿泊の上翌朝帰り……………約一万七千円  
・宿泊+ゴルフ……………約二万四千円  
・総会懇親会出席(日帰り)……………約一万円

今回当会場を選定した目的は、久しぶりの会合を寛いだ雰囲気、タップリとおしゃべりや遊びに充てて頂く点にあります。趣旨ご賢察の上多数ご参加下さいます様お願いします。尚詳報は今後皆様にお送りして参ります。

幹事(赤井・納富・川上・関岡・平井)

## 飛騨高山へのバスツアー

(昭和三十四年卒)

今年の学年会は三組と七組の担当で、思い切つてバス旅行を企画しました。思い出深い修学旅行の再現を―と六月三日～四日、チャーターバスにて出発。関東組とは高山グリーンホテルで合流し、小京都の町並みや陣屋を散策。陣屋ではベテランボランテイアガイドさんの説明に聞き入り、天領であったが故、当時の地元民の苦勞も並々ならぬものがあつたと深く感じ入りました。又町ぐるみ文化財保存に努力されている様子に、数度訪れた人も新たな感動を受けたようです。夕刻からの懇親会の後カラオケルームを借り

今年度の学年会は三組と七組の担当で、思い切つてバス旅行を企画しました。思い出深い修学旅行の再現を―と六月三日～四日、チャーターバスにて出発。関東組とは高山グリーンホテルで合流し、小京都の町並みや陣屋を散策。陣屋ではベテランボランテイアガイドさんの説明に聞き入り、天領であったが故、当時の地元民の苦勞も並々ならぬものがあつたと深く感じ入りました。又町ぐるみ文化財保存に努力されている様子に、数度訪れた人も新たな感動を受けたようです。夕刻からの懇親会の後カラオケルームを借り



切り、賑やかな二次会。最後に全員肩を組

み「高校三年生」を熱唱して幕。タイムトリップしたひと時でした。翌日は朝市見物の後、白川郷へ一路発進。合掌造りの仕組みや絵になる様な風景をカメラに収めたりで和気藹々、帰路は北陸道より米原へ、列車組とはここでお別れし、又の再会を約して楽しい旅を終えました。

七組 五十嵐 祥晃

## 還暦記念同窓会

(昭和四十年卒)

全員が還暦を迎えた記念の同窓会を、五月三日ホテルグランヴィア大阪に於いて一〇名の参加で盛大に行いました。関東を初め遠方からの出席者も多く、今まで一度も参加できなかった人達も出席され、幹事達も大喜びしました。

定年を迎えた人や現役の人、様々な生活の中からなつかしい友人達が集い、ほんとうに楽しく、おしゃべりに花をさかせて、あつという間の時間でした。



山梨県勝沼のワイナリーで働いている赤松英一氏のワイン作りの講演もあり、これからの人生、この多才な友人達と、豊かで楽しく年を重ねていけたら最高と感じました。これからは、あまり間隔をあけずに開いていければ…と思いました。

二次会も予定より多くの参加者があつた事は、楽しかったからだ、喜んでいきます。皆、年よりずっと若々しく感じられた事は、手前みそでしようか…!

平本 京子

## 卒業四十周年記念同窓会

(昭和四十一年卒)

昨年十月二十一日(土)、大手前四一会の卒業四十周年記念同窓会がホテルグランヴィア大阪にて開催され、恩師の石川甲先生と杉野としえ先生にもご出席頂き、総勢八十七名が一堂に集いました。

益々お元氣な両先生のスピーチと乾杯の後開宴となりましたが、皆さん料理よりも話に夢中。あちこちで談話の輪ができました。

今回も、首都圏・長野・新潟・福岡など遠方からの参加者も多く、東京四一会幹事の中村君から現況報告と東京四一会の開催案内がありました。いつもの事ながら楽しい時間はアツという間に過ぎてしまいます。記念撮影後、音楽部の橋本君の指揮で、校歌・応援歌・自治会歌を唱つて一応中締め。ひき続き場所を移動しての二次会にも六十名以上が参加して、こちらも熱気ムンムン。

世間でよく話題になる二〇〇七年問題、その当事者である団塊の世代の私達にとつて、今年が節目の年となるかもしれせんね。さて、今回は来春桜の頃に還暦同窓会を予定しています。場所は母校の金蘭会ホールはどうかな々と検討中。又、近々、学年ホームページを開設予定です。ご期待下さい。

学年幹事



## 学年同窓会

(昭和四十六年卒)

お待たせしました。卒業三十六周年の学年同窓会を開催いたします。半端な年数は、昨年開催予定で計画をしていたのを、大手前の百二十周年と重なったので延期したためです。前回以上に盛り上がるよう、お誘い合わせの上、いえお二人でも、今から予定に入れていただき、ぜひご参加ください。一人でも多くの参加をお待ちしています。

日時 十二月十日(土)午後六時より

場所 ヒルトン大阪(大阪駅前)

TEL 〇六―六三三―四七二二

後日案内を差し上げますが、住所等変更のある場合は、左記までお願いいたします。

〒五七四―〇〇六―

大東市氷野三丁目十一番八十四

大鍛冶 和美

TEL FAX 〇七―一八〇六―一七八三

## 学年同窓会予告

(昭和四十九年卒)

皆様、お元気で過ごしてでしょうか。来年はオリンピックの年、オリンピックの年には学年会が開催されます。皆様一様に五〇歳の大会に乗って初の学年会となります。

第一回準備会を年内に行う予定です。学年同窓会について何か面白そうな企画・アイデアがありましたら、ともししお寄せ下さい。

お待ちしています。メーリングリスト、学年会ホームページなども検討されることと思います。第一回準備会への参加希望者も募集します。ので、ご一報下さい。

また、当方に知られていない同窓生の所在

についても問い合わせがありましたら、協力  
の程宜しくお願いいたします。  
それでは来年をお楽しみに。

学年代表評議員 田中 宏幸

TEL 〇六―六六三―〇三〇五

FAX 〇六―六六三―〇三〇一五

## 卒業三十周年学年会を開催します

(昭和五十二年卒)

三十周年の節目となる学年会です。ご参加をお待ちしております。

詳細は、「昭和五十二年卒業生 学年会」  
[WEB] <http://doeknkt.com/32nenka.htm>  
をご覧ください。

幹事団 (1組 神福・小南 2組 吉安

3組 東口 4組 水谷 5組 中塚・吉村・

福原 6組 東海・中村・廣田・参川

7組 北後・野口・佃 8組 前信・撫佐・嶋崎

9組 柳井・北澤・吉田 10組 河本・須崎)

## 非公式学年会と公式三十年会

(昭和五十三年卒)

ご存じない方には、誠に申し訳ありません。昨年十一月二十三日、本年六月三日に非公式の学年会を開きました。eメールで通知し、あとは口コミで、という簡略化した方法で連絡しています。現在メールアドレスが分かっている人は、およそ九十名です。お知らせできていない方が多く、大変失礼しております。

十一月は、テニスと夕食会。六月は、高校時代の校外学習(遠足)再現というこ  
とで、京都嵐山になりました。松籟庵で  
の昼食と散策で、参加者三十四名という  
会でした。これらの模様は、HPに掲載

していますのでご覧下さい。なお、この  
夏か秋にも再度行おうという計画も上が  
っていますので、HPを時折ご確認頂く  
か、渥美までメールを下さい。次のご案内を差し上げます。HPは、会の一ヶ月  
半前を目処に情報を提供します。

HP URL: <http://www.eonet.ne.jp/~orientae3/>

なお来年は、卒業三十周年となります  
ので、公式の学年会を開きます。現在の  
ところ平成二十年五月三日(祝)で計画  
中です。往復葉書でご案内致します。  
ご期待下さい。

渥美 寿雄

## 学年同窓会実施のお知らせ

(昭和六十二年卒)

実施日 二〇〇七年十一月二十四日(土)

場所 二次会はエル・おおさか(中央区

北浜東三十四)午後三時~五時

二次会は東天紅大阪天満橋OMM  
店(中央区大手前一七―三〇M  
Mビル二〇階)午後六時~九時です。

いずれか一方のみの参加も可能です。

また一次会に先立ち、待ち合わせ場所と  
して午後一時から二時半まで大手前高校  
内金蘭会館を開放します。最終出欠、会  
費等詳細につきましては、八月を目処に  
あらためてDMもしくはメールで連絡し  
ます。情報は随時、87年卒業生用ブログ  
サイト (<http://orientae1987.blogspot.com/>)  
に掲載していきますので、そちらをご覧  
ください。ちなみに同サイト経由で質問  
や連絡先の申請等も受け付けております。

四月二十八日に、西村(天野)亜紀子、

福味(勝田)真樹紅、田實(後藤)美樹、

崎口智史、櫻井護、忠政篤史、橋本(長

島)明子、原田雅子、松井孝文の9名で、

第一回幹事会を実施しました。

## 京都支部

当支部では、年一回の総会(懇親会)  
を京都の名刹・名園等を選んで、春また  
は秋の土日に開催しています。昨年は、  
諸般の事情で総会を持つことができず、  
ご心配をおかけしました。今年は、六月

十日(日)、四条大橋西詰の北京料理「東  
華菜館」で開催しました。また、講師に  
京都文化短大教授で宇治市歴史資料館館  
長の辻ミチ子先生をお迎えし、「幕末を

## 支部161年

生きた京の女性たち」と題して講演をし  
ていただきました。

当支部は年会費を頂いておりませんの  
で、どなたでも参加して頂けます。京都

府及び滋賀県在住の金蘭会会員の方に、  
主に案内状を送っておりますが、案内状  
を必要とされる方は、遠慮なくお申し出  
下さい。

〒六一四―八三六二

八幡市男山美桜一―一六

TEL FAX 〇七五―九八三―五五四

支部長 S 28卒 藤原 啓助



## 阪急支部

阪急支部のこの一年

●第五十八回阪急支部総会

平成十八年九月二日

於ホテルアイボリー

会務報告・会計報告・会計監査報告

講話「高齢化社会を生きたるため」

医療と介護

丹羽権平氏(阪急支部支部長)(S28卒)

クイズ「この歌なあに」

丸山美和子さん(S37卒)

●新年会

平成十九年二月三日

於ホテルアイボリー

「懐メロを唄おう」

藤原啓助氏(S28卒)

曲当てイントロゲーム

丸山美和子さん(S37卒)

●例年なら秋に「お楽しみバス旅行」があるのですが、昨年度は十一月に母校創立百二十周年行事があったため、時期を繰り下げて本年四月実施となりました。詳細報告は来年にまわします。

S30卒 森 延哉

## 阪神支部

阪神支部は、その成立の歴史から高女卒の先輩を大切に考えています。総会には大先輩が毎年楽しんで出席して下さい。私共幹事は大手前の歴史と伝統を身近に感じています。

今年の総会は四月二十二日(日)例年通り宝塚ホテルで開催致しました。昭和十年卒の方々を筆頭に総勢七十名の盛会となりました。

講演は福島里美先生「自分を知り他者

を知る・五感を鍛える」

五感を研ぎ澄まし、記憶力を鍛えて脳を活性化させよう。眼を閉じて折り紙を折ったり、音を聞き分けたり出来ませんか？

福島先生は生命科学を研究する理学博士であり、医学知識にも詳しく、運動選手の実績もあり、主婦を対象に健康指導もする等多才多活な活躍をされています。もお話を伺いたいと思う素敵なお方でした。

総会では車椅子の方にも楽しんで頂けるよう心掛けると共に、幅広い年代の方々の集まりにしたいと幹事一同頑張っています。

幹事として企画に参加して下さい方を募集しています。併せてご意見をお聞かせ下さる方大歓迎です。よろしくお願ひ致します。

連絡先

支部長 S21・4卒 米田 玲子

TEL〇七九八・六七・六四五六

S32卒 真辺 和子

TEL〇七九八・五一・〇一八三

## 近鉄支部

近鉄支部では、会員の分布が広域にわたるため、従来一年置きに大阪市内と奈良県内で交互に総会並びに懇親会を開催してきましたが、今後は原則として、奈良県内で開催することに決まりました。また、新しい幹事も加わりましたので、色々と新しい企画が出てくると期待しています。

昨年は、十月二十九日に総会および懇親会が、奈良の春日ホテルで開催されました。講演は今、流行語になっている「メタバリックシンドロームってどんな病気」の演題で行われました。昨年は例年より

広い範囲の方々に参加を呼びかけた結果、

従来の参加者に加え、新しい層の方が加わりました。今後とも、講演会や学社見学会などにも新しい企画を加えて、楽しい会にしていきたいと考えていますので、多数の方々のご参加をお待ちしています。

なお、これまで入会金を徴収していましたが、昨年から廃止しましたので、お気軽に参加してください。年会費は五百円です。毎年案内を差し上げています。参加は近鉄沿線にお住まいの方に限らず、金蘭会会員ならどなたでも結構ですので、是非お越し下さい。

本年の総会並びに懇親会は十月か十一月上旬を予定しています。

当支部への入会のお問い合わせやご意見が有りましたら、左記にご連絡下さい。

〒六三二-1002 四

住所 奈良市百楽園二丁目五番十二号

支部長 S30卒 高橋 仁志

## 南海支部

南海支部では、年一回大阪南部の各地で懇親会を開催しております。今年は五月二十七日(日)に政令指定都市になった堺市内の「ホテル第一堺」を会場としました。

懇親会では、「介護」をテーマとして、同窓生の中尾敦子さん(S36卒)に講演をしていただきました。恒例の面白クイズではテーブル対抗戦を行い、ことわざに関するクイズで豪華な賞品を獲得したテーブルは、大喜びでした。

毎年開催しています刑事事件の法廷傍聴会が、大阪地方裁判所において五月十日(木)に行われました。毎回考えさせられる事件内容でした。

南海支部ニュースは四月に第八号を発

行することができました。今後も発行できればと思っています。

南海支部では、金蘭会会員の方なら、参加自由ですので、ご一報いただければご案内させていただきます。

南海支部事務局(田中法律事務所内)

TEL〇六六・六六三〇-三〇〇五

FAX〇六六・六六三〇-三〇〇一五

支部長 S49卒 田中 宏幸

## 東京支部

新緑のさわやかな季節になりますと、例年のことながら、金蘭会東京支部総会が近づいて来ます。東京支部では、毎年六月・七月に総会を開催しています。母校を卒業して三十年の学年が当番幹事となり、知恵をしばり汗をかいて、ユニークな企画で会員の方々を楽しませていただいております。毎年出席者は百名を越え、大変盛況であります。

また例年のことながら、母校の校長先生と升谷会長が遠路御臨席下さり、母校と金蘭会の現状につきお話いただくことも恒例になっております。

今年第八十三回総会です。

日時 七月十五日(日)

会場 椿山荘(文京区関口)二〇一八

イベント 「大手前今昔物語」

なんとといっても、おいしい料理をいただきながら、懐かしい友人や先輩後輩達と語り合うのが第一なのですが、大手前高校の過去から現在までの映像を上映し、懐かしい大手前を振りかえり楽しむ企画を予定しています。

今年昭和五十一年卒の方々が当番幹事としてお世話してくださいませ。楽しい総会になると思います。

支部長 S30卒 小田切 康幸



## ☆一前回掲載原稿の 訂正とお詫び

私たち25年卒の思い出の冊子を作りたいという単純な思いが、紆余曲折を経て、戦中・戦後の動乱を語り抜け、男女共学の二期生として卒業した私たちとその頃の大手前がどんなであったかを記したいという風に変わったのが、深い思い込みになったのでしよう。筆が走り出すと無我夢中でした。

## 会員からのお便り

思い出に浸りその頃に帰ったつもりでしたが、先輩・同窓から、当時の記憶では、「動員と疎開で在校生はいない苦」という指摘を受けました。特に「あの日は、金蘭会館が前日の爆撃で半壊していたから在籍していたはずはない」との先輩の証言があったので、自分が校庭で終戦の玉音放送を聞いたというの思い出みだらうと思われまふ。自分の持っていた半壊の金蘭会館の前で数十人が制服を着て写っていた写真のせいで、スッカリ錯覚をしていたらどうなるかも知れませんが。その写真も自宅で自宅のどこかに紛れ込んでしまっており、それこそあの写真をお持ちの方があれば、どういった時に写したのかをお聞きしたいと思います。

あの後集まった原稿には、B29の爆撃と焼夷弾で家を失った先輩や、疎開で心ならずも一時期大手前を離れたという同級生の言もあり、また今回の原稿集めは初めて知った等々も書かれており、大手前を中心の人間模様は、自分の考えていた以上に様々でした。来る七月十五日、椿山荘での東京支部総

会のご案内とお詫びをT輩からも後輩からも頂きましたので、万難を排しても出席させて頂いたきたいと思います。当日は大手前の色々な資料を拜見できるそうなので楽しみにしております。資料に基づいた間違いない記憶を元に大手前卒業生としての誇りを胸に、現在では考えられない当時の体験を、纏めて残したいと思っております。

やろうと思えば、同窓の原稿は揃っておりますものご一緒に作成する方が現役で、急がず完璧にやりたいという意見なので、いまま少しかかりそうですが、その反面夢想だになかった憧れの先輩も参加していただけるということになりました。どうぞご期待下さい。以上が前回掲載原稿の訂正とお詫びです。申し訳御座いませんでした。

石原 光子(S25卒)

## ☆桐誼会だより

淑誼会という名称が桐誼会に変わりました。

大手前卒業の淑女達が集って謡曲を謡っておりますが、男性の卒業生の方々にもご参加を募り、共に楽しく謡いたく思っております。学校の思い出、同窓の「きずな」は年月を越えるものがあります。

会は春と秋に、年二回ほど開催しております。次回は九月二十六日十時半〜四時まで。大阪駅前的大阪弥生会館で致します。どうぞ、



初心者もベテランもご入会下さいませ。大歓迎です。

連絡先 ○七九八―四八―四九〇七  
平石 哲子(S19卒)

## ☆桐蹴会云(サッカー部OB会)

第五回総会(OB戦・親睦会)のお知らせ  
くついに芝のピッチ

(万博・大阪サッカーグラウンド)でOB戦を開催

昨年十二月十二日(日)のOB戦では、昨年と同様、ゲーム以外にも、OB・OGとそのファミリー、現役選手とマネージャーの総勢二〇〇名余が二十チームに分かれて「PK合戦」を行い、参加者全員が賞品を手にし、世代を越えて大いに盛り上がりました。総会後の親睦会には、村田先生が参加して下さり、懐かしい話に花が咲きました。

今年度の第五回総会・OB戦・親睦会は、十月十四日(日)に開催する予定です。八月頃に改めて詳細のご案内を差し上げますが、できるだけ多くの方が参加されますことを願っております。

今回は悲願の芝のピッチでのOB戦が実現します。会場は今年の四月にできた新しい人工芝のグラウンドです。総工費二億七千万円のこのグラウンドは日本サッカー協会W杯記念事業推進委員会の助成を受けて完成したものだそうで、人工芝とは言え、天然芝に近い感触ましがいなしです。現在、朝から夕刻まで借りる予定ですのでタツブリとブレイクしていただけたらと思います。皆さん、参加しなければ損ですよ。早めにトレーニングを始めておいてください。

また、今年役員・幹事の改選の年です。幹事の方は継続するか、別の方にバトンタッチ

するかをお考えください。総会・親睦会の時間・場所は現在検討中です。

なお、今年度(平成十八年十一月から平成十九年十月)の会費(三千円)をまだ納入されていない方は、是非とも納入して下さいませ。ようお願いいたします。できますれば、賛助金(二口千円、何口でも可)も併せてお願いします。(振込口座は、「郵便貯金口座番号009202245834、桐蹴会」となっております。)

桐蹴会のHPもアクセス数が六月二日現在で千三百件を越えました。今後もアクセスすると共に掲示板への書き込み等を是非お願いいたします。

## ★桐蹴会HP

<http://www.otenae-tousyukai.com/>

※ご自身ならびに、同輩などの情報提供、お問い合わせなどは左記までお願い致します。  
千五六一〇八七四

吹田市古江台五―三―三三―三〇八  
TEL&FAX 〇六一六八三―一九八七  
メールアドレス nogu31@tenai.or.jp

野口 幸一(S54卒)

## 編・集・後・記

母校の創立百二十周年記念行事、盛會裡に無事終えられたことを、ご報告でき、感謝しております。

「母校便り」が一頁増えたことにお気づきでしょうか。ご協力を頂いて、部・同好会活動についてお知らせするように致しました。後輩の活動に声援をお願いします。

また、今回は学年会だよりにたくさん寄稿いただき、嬉しい悲鳴を上げました。本部への住所の変更の連絡等、よろしくお願いたします。

今後とも読んでくださる紙面を目指しますので、読まずにポイ捨てはご容赦ください。

(大)